

## 事務事業評価における総括

部 局 名	経済部	記入責任者	大八木 和也
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>平成 29 年度経済部の業務計画に位置付けた 18 事業の評価については、12 事業を S 評価、6 事業を A 評価としています。</p> <p>指標を達成できなかった事業が 6 事業ありますが、短期的に指標の達成ができなかった事業についても、事務事業の目的に沿って総合的に判断すると、成果があがっていると考えられるため、経済部全体の事務事業については、おおむね順調に進捗していると評価しています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>茅ヶ崎西浜駐車場跡地活用事業については、茅ヶ崎漁港背後地等、国道 134 号沿線において地域活性化のさまざまな動きがあります。そのため、これらの変化を適切に捉え、事業を推進することに見直しました。</p> <p>前年度、雇用労働課の地域雇用促進事業については、事業参加者の就職率が目標に達していませんでしたが、企業説明会の実施時期の調整や開催テーマの設定等の事業手法の見直しを行ったことにより、目標を達成することができました。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>経済部の事業においては、成果がすぐに顕在化しないものもあるため、指標を達成できなかった事業については P D C A を実施し、適宜見直しを行いながら継続して事業を推進します。</p> <p>経済部全体の時間外勤務時間については、28 年度に比較して 572 時間（7.5%）の削減となっています。指標を達成している事業については、引き続き成果を上げるとともに、より効率的に事業を進めるため、働き方の見直しの観点から見直しを実施することで、ワークライフバランスの実現を目指します。</p>			